PART２　助動詞の活用

★【活用】

下二段型	**る・らる・す・さす・しむ・つ**
ラ変型	**けり**・たり・**なり**・めり・**り**　**※断定**の「なり」・「たり」は**形容動詞型**
無変化型	じ・らし
形容詞型	まほ**し**・た**し**・べ**し**・ま**じ**・ごと**し**　（※**「じ・らし・まし」以外の「〜し・〜じ」**）
（四段型）	**む**・ら**む**・け**む**
サ変型	む**ず**
ナ変型	**ぬ**
特殊型	**ず**・**き**・**まし**

（例）

助動詞	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
る						
けり	けら	○	けり	ける	けれ	○
じ	○	○	じ	じ	じ	○

助動詞	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
まほし	まほしく	まほしく	まほし	まほしき	まほしけれ	○
	まほしから	まほしかり	○	まほしかる	○	○
む	○	○	む	む	め	○
むず	○	○	むず	むずる	むずれ	○

★特殊型の助動詞の活用表

助動詞	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
ず						
	ざら	ざり	○	ざる	ざれ	ざれ
き						
まし						

↓下に「　　　」がつく

問四　次のカッコ内の語を文法的に正しく活用させ、記せ。

（例）　名をば、さかきの造となむいひ（けり）。

①　こたへやはせ（ず）。

②　寝入りたまひ（ぬ）けり。

③　子になりたまふ（べし）人なめり。

④　先々も申さむと思ひ（き）ども、…

⑤　月も入ら（じ）を。

⑥　われこそすすみ仕（つか）うまつら（まし）。

〈Memo〉

第6講　PART2　確認問題

① 助動詞「る」と同じ活用型の助動詞を、次の中から選べ。

ア　つ　　イ　り　　ウ　まほし　　エ　けり

② 「窓をへだててかくぞいひ［　　］。」の空所にあてはまる助動詞として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　き　　イ　しか　　ウ　たり　　エ　ける　　オ　けれ

③ 「子持ちてこそ、親の心ざしは思ひ知る［　　］。」の空所にあてはまる助動詞として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　なり　　イ　らむ　　ウ　なれ　　エ　べし

④ 助動詞「き」の已然形を、次の中から選べ。

ア　き　　イ　し　　ウ　しか　　エ　せ

⑤「人の家まださだまら（ず）ける。」の（　）内の語を文法的に正しく活用させたものを、次の中から選べ。

ア　ぬ　　イ　ね　　ウ　ざる　　エ　ざり

第６講　PART2　解答

問四　①　ぬ　②　に　③　べき　④　しか　⑤　じ　⑥　ましか

第６講　PART２　確認問題　解答

〔解説〕

① 助動詞「る」の活用型は下二段型である。選択肢の中で下二段型に活用するのは「つ」のみ。よって、アが正解。

② 文末の空所補充の問題は係助詞が絡んでいるものが多い。よって、上をざっと見て係助詞の有無を確認してみると「ぞ」がある。したがって、文末は連体形となる。選択肢の中で連体形になっているものはエのみ。よって、エが正解。

③ 上を確認すると、「こそ」があるので文末は已然形となる。選択肢の中で已然形はウのみ。よって、ウが正解。

④ 特殊型の助動詞「き」は、「(せ)・○・き・し・しか・○」と活用する。

⑤ 特殊型の助動詞「ず」は、下に助動詞がつく場合は「ざら・ざり・○・ざる・ざれ・ざれ」と活用する。助動詞「けり」は連用形に接続するので、正解はエ。

〔解答〕

① ア　② エ　③ ウ　④ ウ　⑤ エ